

▲ 労山大阪・兵庫50周年記念ヒマラヤ登山隊 未踏峰6080m峰登頂の報告と講演会

■日時：2017年12月9日(土) 16時～19時30分

■場所：西宮勤労会館・第8会議室

■参加費：無料

《プログラム》

16:00 開会あいさつ(大阪府連・園理事長)

第1部：講演会



16:05 講演①「日本と世界、最近のヒマラヤ登山事情」

講師：近藤和美氏 (元・日本勤労者山岳連盟海外委員)

1941年生まれ、76歳、東京都杉並区在住。

1959年、17歳で故郷の名古屋から上京・就職。軽登山に触れ、以後次第に岩登り・冬山の世界に進む。登山歴58年、鹿島槍北壁・荒沢奥壁、不帰東面、越後荒沢山東面などでいくつかの冬季初登攀などのほか、世界各地の高峰に足跡を残す。

1972年に初の海外登山としてアルプスに赴き、マッターホルン北壁他を登攀。

76年、勤めていた印刷会社を辞して、初のヒマラヤ遠征。インドの6800m前後の2座を縦走。

84～91年(40代)にソ連領(現タジク、キルギス、カザフ諸国)のバミール・天山山脈を6回訪れ、ソ連領の7000m峰全5座を完登。ソ連山岳連盟から西側登山家としては最初にして最後のSnow Leopard(雪豹)登山家称号を受けた。

92年、50歳にして初の8000m峰チョーオユーに無酸素登頂。以後22回8000m峰に挑む。最初のチョーオユーを除いて全て隊長を務め、自身も9座に延べ10回登頂した。61歳時のガッシャーブルム2峰は8000m峰無酸素登頂の日本人最高齢記録で、14年間更新されていない。

1984年以降本年まで34年間、欠かさず海外に出かけている。青壮年期には一線級クライマーを自負していたが、今はピークハンターが自分の本質なのかなとったりしている。

日本勤労者山岳連盟名誉会員、日本山岳・スポーツクライミング協会国際委員。

16:50 講演②「河口慧海の道…初めてヒマラヤを越えた日本人と西ネパール・ドルポの現状」

講師：稲葉香氏 (Himalako・Keti 登山隊)

大阪・千早赤阪村在住

美容師の傍、旅に出るライフスタイルを続ける。ベトナムから始まり、東南アジア、インド、ネパール、チベット、アラスカを旅をし、その延長で山と出会う。18歳でリウマチが発病し、山に登るなど想像も出来なかったが、2002年のヒマラヤトレッキングにより自然治癒力に目覚め、山に登るまでに復活し、毎年のようにネパールに通い始める。再発と復活のくり帰りの中、河口慧海師の足跡ルートに惚れ込む。2007年、西北ネパール登山隊(故・大西保)の遠征参加をきっかけに西ネパールにはまっている。

17:35 休 憩

第2部：登山報告会

17:45「登山の概要報告」大杖隊長

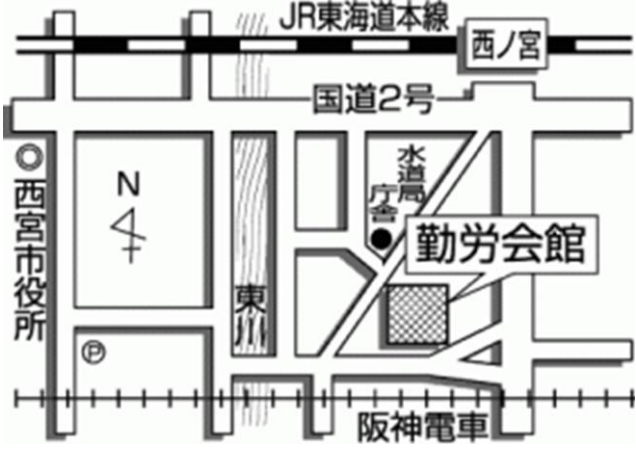

18:15「登山隊の動画上映」源田隊員

18:30「各隊員の報告」中川隊員、前田隊員、栗田隊員、源田隊員、富永隊員、山本隊員

19:00 質疑

19:25 閉会あいさつ(兵庫県連・吉谷理事長)

19:30 閉会

<p style="text-align: center;"><会場案内></p>  <p>所在地：兵庫県西宮市松原町 2-37 JR：西宮駅から徒歩約 5 分 阪神：西宮駅から徒歩約 6 分 阪急：今津駅から徒歩約 10 分</p>	 <p>2017年9月5日 見えている6080m頂上をめざして</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<主催> 大阪府勤労者山岳連盟

〒537-0024 大阪市東成区東小橋 2-1-1 東野ビル 2F
TEL 06-6972-2057 FAX 06-6972-2058

兵庫県勤労者山岳連盟

〒651-0095 神戸市中央区旭通 3-4-12 前田ビル 4F
TEL 078-222-2463 FAX 078-222-2109